



2016.4.15
VOL.25
発行者 松西 香澄

新一年生の皆様、ご入学おめでとうございます。そして在校生の皆様、ご進級おめでとうございます。先日新一年生の方には入学式の際に DVD をご覧いただきましたが、皆様キッズサポーターをご存知でしょうか？学校からの呼びかけによって発足した「七小キッズサポーター」も多くの方にご登録いただき、現在およそ50名で活動しています。学校は今、保護者の力を必要としていて、保護者が少し動くことで子供の教育環境、内容が大きく改善することがわかりました。例えば、5、6年生のミシンの授業では、先生が一人で教えると、やり方がわからない子供達は教えてもらえる順番をひたすら待つしかないので、そこに数人の保護者が入ることで待ち時間が大幅に減ります。また、図書室の本の整理や修繕など、なかなか学校の手が回らないところに保護者が関われば、子供達は整理されたきれいな本を読むことができます。また一人ではなかなか集中して本を読めない低学年を主な対象として“朝の読書の時間”に定期的に読み聞かせを実施しています。そして、保護者にとっても“学校や子供の様子を身近に感じることができる”“参観日とは違う普段の子供たちの様子が見れる”“保護者同士の情報交換やコミュニケーションがとれる”などのメリットもあります。

今年度も「出来る人が出来る範囲で活動しよう」をモットーに子供達のために楽しんで活動していければと思っています。ご興味がありましたら、是非説明会に足をお運び下さい。

キッズサポーター説明会・ミーティング

キッズサポーターって何？各活動内容等、キッズサポーターにご興味のある方、一度お話を聞いて下さい。堅苦しいものではありませんのでお気軽にご参加下さい。

前年度の活動報告、今年度の活動内容の話し合いをしますので、現キッズサポーターの皆様もご参加下さい。

日時：4月22日（金）12：30～
各学年参観日の前
場所：2階 図書室



よくある質問



- Q. 仕事をしているから年に数回しか協力できません。それでもいいですか？
A. 大丈夫です。ご自身の参加可能な時のみ、ご参加下さい。
- Q. 図書整理とかはできるけど、家庭科の補助とかは苦手です。大丈夫ですか？
A. 何のお手伝いをするかを選ぶことができるので大丈夫です。下記に各サポート内容について少し説明していますので、参考にして下さい。
また今期よりミマモルメでサポーター全員に呼びかける事が多くなると思いますが、参加できるものだけご参加いただければ結構です。
- Q. 下の子が幼稚園なので、お手伝いできる曜日や時間が限られているのですが？
A. 子供さんのお迎えや行事など、個々のご予定が最優先で大丈夫です。園児をお持ちのサポーターさんもたくさんいます。
- Q. 一体どんなことをしているのですか？
A. 図書整理：痛んだ図書の修繕、ラミネート、五十音順のラベル貼りなど
遠足見守り支援：遠足や校外学習などに行く際、危険と思われる場所に立つ、近隣の遠足に付き添う(行き帰りのみ)
家庭科補助：5、6年生の調理実習、ミシン学習等のサポート
何をどのようにサポートすればよいのかは、先生が指示してくれます。調理実習の時は、基本的には様子を見て、口添えするだけが多いです。ミシンでは、ミシン作業以外のアイロン掛け、失敗した時の糸をほどく手伝い等、ミシン以外のお手伝いも多いです。
読み聞かせ：朝の読書の時間に低学年に対して絵本の読み聞かせを行います。サポーターの人数が集まれば、高学年まで行います。
ガーデニング：昨年正門玄関すぐの“こもれび広場”に子ども達と一緒に花壇を作りました。今年度は花の植え替え等の整備していきます。園芸がご趣味の方、またご興味がある方は是非ご参加下さい。

その他活動内容は、必要に応じて先生方、サポーターで相談して決めています。

